



12月 親の会例会を開きました。

今月は新しくお父さんの参加がありました。「最初は無理やり行かせようとしたけれど、今は、できるだけ顔を見ないようにして抑えている・・・」の言葉に、みんな、「そうそう、うちもそうだったあ〜」「いつまでなんだろうって先が見えないことが不安だったですよ〜〜」と、お父さんの言葉を頷きながら聴きます。

明日は行こうと思う夜、明日にしようと思う朝

「もうそろそろ、と、学校に行くことを促すと、明日は行行って準備をするけれど、朝になると行けない。どうしてなんだろう・・・」

明日は行こうと思う夜、明日にしようと思う朝・・・小学5年から中学3年まで、5年間の不登校体験を持つ岡山県にいらっしやる、堂野博之さんが、当時の様子や心の揺れを書いた詩画集『あかね色の空を見たよ』の中の一節です

「行こうとしてもどうしても身体が動かない」苦しくて・・・、そんな自分をいちばん情けなく思っているのは子ども自身なんですよ。



親自身が子どもを映す鏡になろう

子どもが少し動きだしたとき、親は期待もハードルも上げてしまいがち。

ぐずぐずしていると、ついつい、小言を言いたくなります。それに子どもも一人

前に(!?)理屈を言ってきます。

あるお父さんが、「子どもは顔に目が付いていても、他人ばかりが見えて、自分のことは見えていない」とおっしゃいました。

新しい発見!!ほんとに日ごろ鏡でも見ない限り自分を観ることはないんですね。

「じゃあ、子どもとの会話の中で、親が鏡になって、子どもの気持ちを受け止めて言えば、子どもが自分を見つめることになるんじゃないかな」と。。鏡になってみますか?

親の会はいつも新しい発見があります。ともに自分を見つめてみませんか。

家族教室を開きます

徳島大学準教授の境泉洋先生のご協力で、24年度、家族教室を開く予定です。詳細はこれから。境先生は宮崎出身、全国のつどいin宮崎やひきこもり支援者交流会in岐阜にも参加されています。

人間として向き合うということ

9月に義父が93歳の生涯を閉じました。知らせを受けた時は東京で困難を抱える子ども若者に対するアウトリーチ（訪問支援）研修の最中でしたが、切り上げて、夫の故郷に向かいました。

安らかな死に顔でしたが、話を聴くと、入所していた施設で、意識を失い、救急車で病院に運ばれたけれど、間に合わなかったとのこと。ただ、救急車で運ばれる途中、蘇生マッサージを行ったため、肋骨を何本か折り、病院では死因を不審とし、もしかしたら警察が入るかもという事態でもあったと聞きました。

最後まで最善を尽くしていただいたことに感謝の気持ちを持ちつつも、「人生の最期」を迎えるということについて、妙な違和感がありました。

なぜならば、施設、救急救命、病院、それぞれが、その役割に忠実かつ「最善」を尽くしたのかもしれないけれど、一人の人間が人生の最期を迎えるということを本当に尊重された最期だったのだろうかという思いが拭えなかったからです。自分はどんな人生を生き、どんな最期を迎えたいのか、身体は動かさず認知症があったとしても人間として、人間としての最期。。声なき声に耳を澄ましてみたいです。

私はわが子が不登校になって以来18年間、同じ悩みを持つお母さん方とつながり合い、不登校・ひきこもりの問題に取り組んできました。そして、多くの子どもたち、若者たちとの出会いがありました。

今年、20歳になる青年は、通信制高校を卒業し、ピアサポーターとして、子ども・若者の居場所運営と訪問支援に少しずつ関わるようになりました。

4年前、居場所にやってきた彼は、まだ線も細く弱々しい感じでしたが、同じ仲間と出会い、つながり、そして大人の優しさの中で育っていきました。

居場所に関わる大人たちは、まだまだ行きとどかない面もありますが、揺れながら、模索しながら、子ども・若者を丸ごとの人間として尊重し、向き合うことを大切にしてきました。そこにはありのままの自分でいいという「安心」があるのではないかと、自分を表現できるようになり、またそのことが自分を解放していくことにつながるのではないかと思うのです。それは大人も同じで、若者たちに対してだけでなく、大人同士がお互いを大切に思い尊重することにもつながっているのではないかと思います。

翻って、学校で子どもたちは尊重されているのか、社会で若者は尊重されているのか、ここにも子どもたち、若者たちの声なき声が聞こえてくるようです。

義父の死と子ども・若者に関わる中で感じる「人間として尊重すること」を少しでも考えてみました。

亀田立子

第7回社会的ひきこもり支援者全国実践交流会 in 神戸

平成24年2月18日（土）～19日（日）

流通科学大学

参加費 大人3000円 学生・当事者・本人2000円

懇親会 4000円

境泉洋先生がテーマ別実践交流会のひとつ「ひきこもりと家族支援」の助言者です。（別紙に申し込みを）

チャオだより
子ども&若者の居場所・作業所

よろしかったら、少し
元気になった子どもさ
んに紹介してくださ
い。



去年の餅つきの様子

今年も恒例餅つき&年越しそば打ち

今年はみなさんにとってどういう一年でしたか。
かまどに火をおこし、お餅をつきながら、おそばを食べながら、それぞれの
一年を「ようやってきたなあ〜」と振り返ってみましょうか。

とき 12月21日(水)
9時半ごろから火をおこします。
ところ 小松台 亀田宅庭(小松台北町20-4)
参加費 実費



コスモス会 成人式&旅立ちを祝う会

今年成人式を迎えるSくん、Yくん、以前成人を迎えていて、機会を逃した人も
いっしょにお祝いしましょう。
この春、通信制高校を卒業し、専門学校への進学が決まったYくん、Hくんの旅立ち
に祝福を!!

とき 2012年1月13日(金) 11時半~14時
ところ 宮崎観光ホテル はなはな
参加費 1500円



・・・ゆるゆる 楽しく就労支援・・・

場所 古賀ビル3F (賃金あり ただし、チャオ利用者に限ります)

☆お試し利用の方 参加費をいただきます(1回1,000円 作品をプレゼント)

●12月16日(水) 9時半~12時 クリスマスケーキ作り

翌日のクリスマスパーティーのケーキ作りです。

●会議やイベントのコーヒー販売承ります

●(水) 午後1時~4時縫物工房

エコバッグ、ティッシュケース、カード入れ製作

かわいい刺繍入りです。ちょっとしたプレゼントに最適。

ケーキ、コーヒー、小物のセットもできます。ご注文に応じます。

●企業のみなさまへ・・・「こんな仕事やってみたら」というものがありましたら
ぜひお声をかけてくださいませ。



揺れながらも支えあう

1月 親の会例会

とき 1月14日(土) 午後1時~4時

ところ 宮崎市民プラザ4F 小研修室 (宮崎市橘通り西1丁目宮崎市役所隣り)

今後の例会等日程

| | |
|----------|--------------------------|
| 12/24~25 | 九民研 佐賀集会(川上峡温泉) |
| 1/14(土) | 1月例会 市民プラザ4F小研修室 |
| 1/31(火) | 困難を抱える子ども・若者支援フォーラム市民プラザ |
| 2/11(土) | 2月例会 市民プラザ4F小研修室 |
| 2/18~19 | ひきこもり支援者全国実践交流集会在神戸 |
| 3/10(土) | 3月例会 |

予定は変更になることもありますので、お問い合わせくださいませ。

別紙に参加申込書を入れています。ごいっしょに神戸に行きましょう。参加補助もあります。2013年は宮崎で開催されます。

相談 要予約

090-7458-0926

亀田まで

子どもさんの気持ち(どんな支援を望んでいるか)ごいっしょに考えましょう

12月・1月スケジュール

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|----|-----|-------|-------|----------|--------|
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | 相談日 | チャオ縫物 | 発送作業 | ケーキ作り | クリスマス会 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | | 相談日 | 餅つき | 大掃除 | 冬休み | |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 冬 休 み | | | | | | |
| 元日 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 冬 休 み | | | | | | |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| | | 相談日 | チャオ | 事務局会議 | コスモス会成人式 | 親の会例会 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| | | 相談日 | チャオ | 発送作業 | ケーキ作り | ネットワーク |

会費納入ありがとうございます

年会費 2000円 おもに毎月発行のコスモス通信発行費に充てられます。

内訳(会費・寄付・その他)をお書きください。

郵便振替口座

口座番号 01780-1-132375

口座名称 コスモス会